

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経済学部	現代ビジネス学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	フオンティス応用科学大学 (オランダ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	International Business Consultancy		
報告書提出日	2019年9月23日		
留学予定期間	2019年8月～2019年12月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 150 (ユーロ) /合計

航空券代： 520,250 (円) /合計

ビザ申請関連費： 171 (ユーロ) /合計

その他 (海外保険)： 63,036 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 50万 (円) /合計

約 50 万円の残高証明書を提出しました。

1.2. 渡航について

8月21日 成田空港発—デュッセルドルフ着の直行便を利用。

デュッセルドルフ空港から鉄道を利用してデュッセルドルフ中央駅へと移動し、

デュッセルドルフ中央駅からバス(FlixBus:オンラインで事前予約)を利用してアイントホーフェン中央駅まで移動

アイントホーフェン中央駅から滞在場所までは徒歩で移動。

全過程において送迎はなし。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

寮の正規入寮日が8月31日からであったため、それまでの間(8月21日～8月31日)は派遣先の大学が提供して下さった部屋で同じ派遣先大学の神大生とシェアハウスを行った。

当初の入寮予定日であった31日に、寮の建設が間に合わなかったため、寮を提供する会社(Holland2stay)から臨時の部屋を用意され、そこで完成日まで生活した。

入寮日に関しては、鍵の受け取りと簡単な説明(洗濯やゴミ捨てに関する諸注意)を受けただけの簡単な手続きだった。

入寮する前に、オンラインで **Holland2stay** に登録し、頭金や諸々の手続きを行った。家賃などの支払いは基本カード決済。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

シティーセンターで手続きを行う。シティーセンターでの滞在許可の手続きには予約が必要だが、予約はすべて派遣先大学が行ってくれていた。寮の会社との契約書とパスポートが必要。私のような短期留学生の場合は、アポステイユ申請書（英訳版）は必要なく手続きができるが、長期滞在の場合はアポステイユ申請書が必要である。

外国人登録に関しては、この書類の提出期間内には行われていないため、説明不可能。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8月26日から1週間は **introduction week**。留学生向けの **BBQ** などが開催された。

学生登録に関しては、特に手続きはなかったが、学生証の作成はオンラインで顔写真をアップロードするなどの手続きがあった。

プレイスメントテストは無し。1週間各授業のガイダンスがあり、次の週から普通に授業が始まる。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

国際的に活動することが一つの目標であり、その中でも他国の地域のブランディングに興味を持っている。文化の異なる国で商品などを販売するには、その国の地域の特性や文化に即した形で販売しなければならない。そのような仕事に携わるために、**Regional Branding** や **Global Marketing** などの目的に関連した授業が多くあるこの大学を選んだ。

達成目標としては、知識をしっかりと得て帰国することと、グループワークがほとんどであるため、積極的に活動しながらプロジェクトチームと協力して1つのプロジェクトを完成させること。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

まだ始まったばかりだが、早速プレゼン発表があったり、グループワークが始まっている。まだなかなか自分の意見を上手く伝えることができず落ち込むことも多いが、失敗を恐れず積極的にグループの活動に貢献していきたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

早速人前でプレゼンを行う機会があるので、失敗を恐れずに自信を持って発表ができるように精進すること。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Regional Branding
火	Business English, Public Speaking

水	Global Marketing
木	HRM, Cultural Diversity Management
金	
土	
日	

4.2. 授業について

Regional Branding

グループワークの授業。チームで1つの地域のブランディングを行う。評価方法はグループでのレポートやプレゼン。

Public Speaking

TED Talk のような、人前で発表する力を身につける授業。1人でプレゼンを複数回行い、最初と最後で自分のプレゼン力がどのように成長したかをレポートで提出

Global Marketing

まだ始まったばかりで詳しいことはわからないが、教授の提示したケースについてグループで話し合い発表するような流れ。評価方法もグループワークであろうが詳細は未だ不明。

HRM

各グループが自分らの担当するお題について45分間授業を行う。グループワーク。

Cultural Diversity Management

グループでディスカッションを行いながら文化の違いなどを学ぶ。一番会話する機会の多い授業。

4.3. 予習・復習・自習について

プレゼンが多いため、準備期間がかなり必要。グループワークも多いため、休み時間などを利用してメンバーと話し合う機会も多い。家で勉強する必要がある。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居 寮（その他： ）

食事に関しては、基本自炊の生活。食費は安い方。アジアマーケットもあるので、そんなに食事には困らない。

服装に関しては、9月は朝晩がかなり冷え込むため、冬服を大目に持ってくるのが必須。

寮に関しては、1人部屋なので気楽に生活できる。

5.2. 課外活動について

スポーツクラブに登録している。時間のあるときに友達と通っている。

5.3. 現在までの感想

授業の難易度に一番悩まされている。なかなか発言できないことや、英語力のなさについていけないことも多く、たくさん悩み落ち込む毎日である。しかし、このような悩みも数ヶ月後にはなくなるように、今やるべきことに精進し成長できるよう頑張りたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（10月）

所属	経済学部	現代ビジネス学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	フォンティス応用科学大学 (オランダ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	International Business Consultancy		
報告書提出日	2019年11月11日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

国際的に活躍できる人材になることが目標であり、より深い知識を得るために留学を志望した。目標達成としては、知識をしっかりと得て帰国することと、グループワークがほとんどであるため、積極的に活動しながらプロジェクトチームと協力して1つのプロジェクトを完成させること。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月の目標は、人前でプレゼンを行う際には、失敗を恐れずに自信をもって発表ができるように精進することであった。何度もプレゼンを重ねるうちに、次第に自身がつくのはもちろんのこと、どうしたら前回よりもプレゼンの質を向上できるか考えて行動できるようになった。また、グループワークの際も、自分の意見を口頭だけで伝えるのはなかなか難しいため、事前に自分の意見をまとめた文書を作成して提案するように工夫したことにより、メンバーの理解も深まり、より自分の意見を主張しやすくなった。意見を取り入れられる機会も増え、順調にグループで活動できていると思う。

1.3. 今月の学習・研修目標

自分の意見を伝えるために、上記に記載のように文書を作成して提案したり、事前に下調べするように工夫したことにより、よりグループワークに協力的に活動できるようになった。今月はよりプレゼンやグループワークの機会が増えるので、より精力的に活動できるよう努めたい。

2. 学修について

2.1. 授業について

REGIONAL BRANDING

4人のグループで、今後産業が拡大していくであろう地域を取り上げ、どのようにその産業を拡大させるかを考え、レポートとプレゼンを提出する。

PUBLIC SPEAKING

1人でプレゼンテーションをする授業。プレゼンするたびにビデオを撮影しておき、最終レポートとし

て、自分のプレゼン力がどのように向上したかを分析し提出する。これまでオランダと長崎（地元）の歴史的関係や、日本のビジネスマナーなどについてプレゼンを行った。

GLOBAL MARKETING

実際にある企業の海外事業拡大戦略やブランド戦略、CRM 戦略などをグループで話し合いプレゼンする。リアルケースに基づいて学習するので、履修している科目の中で一番楽しい授業。

HRM

第1セクションは、各グループに振り分けられた HRM に関する主題を45分間生徒が授業を行う。第2セクションは、第1セクションで学んだことをにまとめ提出する。第3セクションはポスターを作成しプレゼンすることだが、まだここにまで至っていないため詳しいことはわからない。

CULTURAL DIVERSITY MANAGEMENT

留学生が各国のシンボルや行事、ヒーローなどについてプレゼンを行ったり、グループで海外事業拡大に文化的差異によって失敗した企業についてプレゼンを行う。

BUSINESS ENGLISH

ビジネスメールの書き方や、様々なシーンでのメール作成方法について学ぶ。

2.2. 予習・復習・自習について

REGIONAL BRADING

グループミーティングを行うまでに、様々なことについて調べておく必要があるため、授業の空きコマや家で3～4時間自習している。

GLOBAL MARKETING

2週間に1回のペースでケーススタディについて考えなければならぬため、家で自分の意見を事前に文書でまとめたり、調べなければいけないことが多い。授業外でのグループミーティングや予習を含めると5～6時間自習している。

HRM

予習は各グループが事前に課題を課している場合のみ行う。

CULTURAL DIVERSITY MANAGEMENT

とくに予習や復習はないが、グループミーティングを行う際には、様々なことを調べたうえで参加するため、それに3～4時間要する。

BUSINESS ENGLISH

特になし。

2.3. 語学力について

確実に向上してる。来た当初は教授が何を言っているのか理解に苦しむことが多かったが、最近はスムーズに聞くことができるようになったり、なによりリーディングが向上したように思う。授業のグループワークの関係で多くの英語の論文やネット記事を読む機会があり、来た当初より速読できるようになったり、理解しやすくなったと感じる。スピーキングは一番課題が残るが、当初よりスムーズに話すことができるようになっているに加え、日常会話以外のビジネス的なことに関してもより意見を述べることができるようになった。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	民間アパート（その他： ）
----	---------------

1人暮らしであるため、プライベートはとても充実している。いつも友達が遊びにきてみんなでパーティしたり、課題したりと充実した生活を送っている。

3.2. 課外活動について

休日はほとんど友達とともに過ごしている。放課後は大学の近くのスポーツセンターに通い、友達とトレーニングや、ダンスやヨガなどのクラブに参加している。

3.3. 現在までの感想

自分の意見を発言することが重要な環境で、日本の授業形態とは異なった形で学習できていることがとても刺激的である。授業外でも常にグループワークが行われるため、忙しい毎日だが、放課後にスポーツセンターに通ったり、友達とパーティしたりする毎日がとても楽しく充実している。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経済学部	学科	現代ビジネス学科	3 年次
派遣先大学 (国)	フオンティス応用科学大学 (オランダ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	IBC	履修言語	英語	
留学期間	2019年8月～2019年12月			
報告書提出日	2020年1月14日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall semester	9月2日 ～12月20日 (16週)	12月2日 ～12月20日	最初の1週間はオリエンテーションとして、授業を試しに受けることができた。そのあと抽選など関係なく自由に自分の取りたい科目をオンラインで登録した。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall semester	Regional Branding	23.38 時間	月曜日開講。ある地域に焦点を当て、今後どのように産業が発達していくかをグループで考え、レポートとプレゼンやビデオなどといったクリエイティブに富んだものを提出する。それが成績にそのまま反映される。
		1.67(時間/ 回) ×1(回/週) ×14(週)	
Fall semester	Business English	10 時間	火曜日開講。ビジネスシーンにおける英語を学んだ。(電話対応やビジネスメールなど) 試験は筆記形式でテスト期間の最終日に行われる Writing Exam の期間に行われた。
		2 (時間/回) ×1(回/週) ×5(週)	

Fall semester	Global Marketing	23.38 時間	水曜日開講。リアルケースに基づいたマーケティングを学ぶ。海外事業拡大や CRM、顧客満足度などについての戦略をグループで話し合い、授業内で発表したり、考案内容について口頭テストを行うことが成績評価の内容。
		1.67 (時間/回) ×1(回/週) ×14(週)	
Fall semester	HRM	25.05 時間	木曜日開講。3つのセクションに分かれての評価。45 分間 HRM についてのトピックをグループで 45 分間授業するという Sharing Session、リアルケースに基づいた企業の経営改革を考えポスターに起こす Poster Session、Sharing Session で学んだことについて、それらが 10 年後どのように変化しているかを考える Infographic Session。グループでの活動。
		1.67 (時間/回) ×1(回/週) ×15(週)	
Fall semester	Cultural Diversity Management	23.38 時間	木曜日開講。ビジネスにおける文化の違い (Power Distance や High context / Low context など) について授業で学び、それらを踏まえたうえで、グループで海外事業展開に失敗した企業の事例について説明するプレゼン発表があり、それが成績評価に反映される。
		1.67 (時間/回) ×1(回/週) ×14(週)	
Fall semester	Public Speaking	10.02 時間	火曜日開講。TED TALK のように人前に立って表現することを学ぶ授業。実際に自分の考案したトピックを生徒の前で発表し、成績評価としてはその発表を撮影したビデオと、複数回行ったプレゼンにおいて自分がどのように成長したかなど分析したレポートを提出した。
		1.67 (時間/回) ×1(回/週) × 6 (週)	

1.3 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

常に自分の行動に対して「評価と改善」を行うように心がけた。日本で学ぶよりも語学面でもスピードでもはるかに大変であったため、自分の行動に対して何を評価すべきなのか、逆になにを問題と捉え改善していくべきなのかを常に考え行動していた。具体的には、グループワークにおいて、意見を思いつくことはできても発言できない自分を悔しく思った際、アイデアが思いつくことを評価点とし、発言できないことを改善点と考えた。そして自分の意見を事前にまとめた文書を作成するなど行動を改善したことにより、メンバーの理解を深めることにつながったりした。これに対して予習復習は欠かせないもので、人よりも倍努力をする姿勢を心がけて生活した。

1.4 語学力について

圧倒的に成長した。留学前はあまり話せなかったり、リスニング力もあまりなかったが、留学を通して自分の思うことを自分の気持ちに近い形で表現できるようになったり、リスニング力も格段に上がった。また、授業内で文献を読むことがとても多かったので、最初は読むことに時間がかかっていたが、途中から速読が可能になり、時間をより効率的に使えるようになった。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

ビジネスに関する知識が格段に向上した。すべての授業がリアルケースに基づいた内容であったので、学術的ではないより実践的な授業を行うことができた。また、ほとんどの授業がグループワークでの評価方法だったので、国籍の違う学生とともに協力しながら課題を進めていくことで、クリエイティブなアイデアなどを共有しあえるきっかけとなり、仲間と共同して一つも目標を成し遂げるやりがいなども感じることもできた。さらには、勉強に対する意識変革も得た成果の一つである。グループで活動するからこそ、自分の担当に対する責任や、全体を理解しておかなければならないといった責任などの様々な責任や使命感から、勉強に対する意識も向上し、予習復習はもちろんのこと、わからないことに対する探究心の向上にもつながった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

留学前にもっと勉強をしておくべき。英語に関してはもちろんのこと、ビジネスの知識を多く持つておかないと、それを知ることから始まるのですごく時間がかかる。向こうの方々は一度習ったことは知っていて当たり前というような感じで話が進んでいくので、より多くの知識を持つておくと、現地についてからより役立つと考える。

2.3. 留学生活で得られたもの

留学の成果は4点ある。1つ目は「積極性のさらなる向上」。自分からアクションを起こさないことには何も始まらない環境であったため、遠慮することなく積極的に行動できるようになった。2つ目は「対応性、価値観の寛容性の向上」。多様な文化を持った学生とかわかっていく中で、文化における違いを多く感じることもあり、それを寛容的に受け入れていくよう努めたことで何事に対する対応性が身についたように思う。3つ目は「評価と改善に基づく計画性の向上」。上記に記述の通り最後が「将来の明確化」である。国際的に活躍できる人材になりたいという目標が、どのような視点から国際的にかかわっていきたいのかをより具体的に考えるようになり、それが就職活動の効率化につながっている。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

生活に関しては、プライベートでも留学生や現地の学生と交流する機会を多く持つことをお勧めする。授業内だけでは知ることのできない文化面やその人自身の性格などを知ることができるのは、プライベートで深くかわってからこそであると振り返ってみて感じている。大切な仲間を増やすきっかけや、授業内だけでは学ぶことのできない生活面における英語などを学ぶことができるため、多く留学生や現地の学生と交流する機会を持つことをお勧めする。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年1月14日

所 属	経済学部	現代ビジネス学科	3 年次
派遣先大学	フォンティス応用科学大学		4 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	一人暮らし、ロフト
3	入居時手続き	現地の管理会社と契約し、デポジットを払い受付でカギを受け取る
4	費用 (月額)	(€500~600) (食費 食費含む/月)
5	支払方法	
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (テレビ・ソファ・ベット・wifi)
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	徒歩5分圏内にスーパーなどがそろった場所がある、最寄り駅までは徒歩20分程度
9	アクセス	大学までの距離は徒歩30分圏内、自転車だと10分程度
10	留学中の住居に関して アドバイス	オランダのハウスエージェントはためになりません

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	プリペイド式
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	ショッピングモールなどでSIMカードをもらい自分で設定 (Lebara)
4	自宅のインターネット接続環境	有線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	有線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	600 (€) /月
2	食費	200~300 (€) /月
3	交通費	50 (€) /月
4	通信費	0 (€) /月
5	娯楽費	200~300 (€) /月
6	図書費	0 (€) /合計

7	学用品（教科書など）	0（€）/合計
8	被服費	100（€）/合計
9	医療費	0（€）/合計
10	雑費・その他	0（€）/合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舍デポジット	150（€）/合計
12	ビザ申請関連費	171（€）/合計
13	航空券代 （休暇時旅行費用は除く）	500（€）/往復
14	その他	（€）/合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	3300（€）/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：100000円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：ゆうちょ銀行） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス	基本はカード支払いだが、割り勘などをするときキャッシュが必要になるのである程度持っていくことをお勧めする

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 プラン （6か月分で63,036円）
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	鎮痛剤

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 延長コード
2	現地で購入したもの 特になし
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていっていたら便利だと思ったもの 基本すべてそろっていたので特になし

VI. 留学先で困ったこと

留学先の会社（とくにハウスエージェント）が適当なので、対応にとっても困った。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

とても成長できる環境なので自分を大いに成長させてください